

# 平成16年3月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成16年2月13日

上場会社名 味の素株式会社

(コード番号: 2802 東大名福札)

(URL <http://www.ajinomoto.co.jp/>)

代表者役職名 取締役社長 氏名 江頭 邦雄

問合せ先責任者役職名 執行役員財務部長 氏名 吉岡 雅典 TEL:(03)5250-8161

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における  
認識の方法との相違の有無 : 有

1. 法人税等の計上方法: 見積実効税率を適用
2. 貸倒引当金の計上方法: 一部簡便法を適用

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況

連結 (新規) 9社 (除外) 7社 持分法(新規) 1社 (除外) 1社

## 2. 平成16年3月期第3四半期の業績概況(平成15年4月1日 ~ 平成15年12月31日)

### (1) 経営成績(連結)の進捗状況

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期) 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	795,834	54,136	56,847	27,357
(参考)15年3月期	987,727	54,059	56,888	33,178

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当 り四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第3四半期	42.19	-
(参考)15年3月期	50.73	-

### (2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第3四半期	904,222	415,575	45.9	640.84
(参考)15年3月期	864,588	391,154	45.2	602.66

## 3. 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 95社 持分法適用非連結子会社数 4社 持分法適用関連会社数 21社

## 4. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日 ~ 平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	1,050,000	67,000	35,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 53円61銭

経営成績等の定性的情報については、2及び3ページの第3四半期連結業績の概要をご参照ください。

## 1. 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報

当第3四半期までの（平成15年4月1日～平成15年12月31日）連結売上高は、7,958億円、連結営業利益および連結経常利益は、各々541億円、568億円、連結純利益は273億円となりました。

なお、平成16年3月期の通期業績予想に関しましては、平成15年11月14日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

### 国内食品事業

国内食品事業を取り巻く環境は、長引く個人消費の低迷に加え、BSE（牛海綿状脳症）、鳥インフルエンザなどの影響を受け、これまで以上に厳しい状況にあります。こうした中で主要製品における需要喚起の為に施策を実施し、販売の拡大に努めました。

調味料につきましては、「ほんだし」では秋季より『みそ汁/煮物』を中軸に据えたテレビ・コマースに店頭プロモーションを連動し、炒め用途訴求を継続し総需要拡大取り組みを実施しました。

「Cock Dō」では地域ごとの販売施策の取り組みが成果を上げ、前年を上回りシェアも上昇しました。また、中華調味料も好調に推移しました。業務用商品では、酵素製剤は国内・輸出ともに順調に推移したものの、天然系調味料は国内既存需要家の生産低迷等により前年実績を下回りました。

以上の中、調味料全体としては前年実績をやや下回りました。

加工食品につきましては、ス・ブ類は「クノール カップスープ」の売上が安定的に成長し、「クノール スープパスタ」を中心とするスナックスープ領域が大幅伸長しましたが、マヨネーズ類は市場の総需要が伸びない中、前年の売上げを下回りました。

ギフト商品につきましては、全体市場が前年を下回る中、順調に推移しました。

甘味料・栄養食品につきましては、アミノ酸系サプリメント「アミノバイタル」はゼリードリンクを中心に引き続き大きく売上げを伸ばし好成績を収めました。家庭用・外食市場向けのアミノ酸系甘味料は、「パルスweet」カロリーゼロが製品改訂により順調に伸長し、「パルスweet」「スリムアップシュガー」が堅調に推移しました。

冷凍食品につきましては、家庭用は、自社生産の主力製品拡充が奏功し、ギョーザ類が引き続き大幅に伸長した他、広告、施策を集中した「HOT! 1エビピラフ」「HOT! 1こんがりえびグラタン」が順調で前年を上回る売上げを確保しました。業務用は市場の低迷や大型特注品の販売不振の影響が大きいものの、「フレック」ブランド製品の貢献により前年の売上げを大きく上回りました。

食用油につきましては、価格適正化の取り組みを継続、家庭用、業務用とも堅調に推移しました。尚、本事業につきましては2004年度上半期中に、(株)J-オイルミルズが、味の素製油(株)、(株)ホ-ネンコーポレーション、吉原製油(株)を吸収合併する予定です。これにより経営の効率化、商品開発力、販売力の強化を図るとともに、生産・販売・物流等のコストダウンに向けた取り組みを加速させます。

コーヒー類につきましては、インスタントコーヒーは袋物商品の拡売が奏功し順調に売上げを伸ばしました。また、液体コーヒー分野も前年を上回る実績となりました。

飲料につきましては、新製品「アミノカルピス」や「健茶王」が寄与したものの、昨年の冷夏の影響が大きく前年の売上げを下回りました。

チルド乳製品につきましては、市場の前年割れが続くなか、年度上半期は健闘、好調に推移しましたが、競争激化により10月～12月は前年実績を下回る売上げとなりました。

以上の結果として、国内食品事業の売上げは4,668億円、営業利益は227億円となりました。

### 海外食品事業

海外食品事業の売上高は1,075億円、営業利益は67億円となりました。

調味料につきましては、家庭用・外食市場向け「味の素」は、タイ、ベトナムなどアセアン地域の売上げが引き続き順調で、インドネシアもハラル問題以前の水準まで回復、また、西アフリ

力の好調も続いており、全体として前年を上回る売上げを達成しました。風味・混合調味料は、引き続き各地域で売上げを大幅に増加させております。食品加工業向け「味の素」は、北米、欧州、日本国内などでの販売は堅調に推移し、円高による為替影響が大きいものの、全体として前年を上回る売上げとなりました。核酸は、国内はほぼ予定通りに推移したものの海外の競争激化、為替影響等で、前年を下回る売上げとなりました。

加工食品につきましては、飲料はタイの缶コーヒー「Birdy」が引き続き売上げを伸ばしました。即席麺では、アジアにおける即席麺市場の冷え込みを受け前年を下回る売上げとなりました。また、昨年11月海外における初めてのカップスープの発売を中国で開始しました。

#### アミノ酸事業

アミノ酸事業の売上高は1,134億円、営業利益は188億円となりました。

飼料用アミノ酸につきましては、米国コ-ン豊作と大豆不作に、大豆の中国への輸出需要増等が加わる好環境の中、各地域とも売上げが大幅に増加しました。飼料用スレオニンも需要回復により、販売数量が増加し前年を上回る売上げとなりました。

医薬・食品用アミノ酸につきましては、国内医薬・飲料向け販売が好調に推移しましたが、米国健康食品市場での競争激化、欧州医薬用途の引き取り時期のずれ等により海外での進捗が遅れ、円高の影響も受ける中、全体としては前年の売上げを下回りました。

甘味料につきましては、前年対比で販売単価が下落しており減収となりましたが、大手・一般市場とも堅調に推移し、販売数量では前年を大きく上回りました。

医薬中間体につきましては、欧州における主力製品の売上げが順調に伸長しました。

化成品につきましては、アミノ酸化化粧品「ジーノ」は、地道な広告・販売促進活動が奏功し大幅に売上げを増加しました。電子材料は次世代コンピューターのMPU基板用の層間絶縁用フィルムが順調に立ち上がる等、引き続き好調に推移しました。

化粧品素材は、海外が堅調なものの、国内は苦戦し前年の売上げを下回りました。

#### 医薬事業

医薬事業の売上高は604億円、営業利益は92億円となりました。

一昨年12月の清水製薬㈱の買収により製品群が強化され、また糖尿病剤「ファスティック」骨粗鬆症治療剤「アクトネル」は、医療機関への情報提供を各販売委託先と共同で積極的に展開、順調に売上げを伸ばしました。

#### その他

その他の事業の売上高は475億円、営業利益は30億円となりました。

## 2. 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報

総資産は、主にギフト品等の季節要因による売掛金の増加および有形固定資産の増加により、前連結会計年度末に比べ396億円増加し9,042億円となりました。株主資本につきましては、前連結会計年度末に比べ244億円増加し4,155億円となりました。この結果株主資本比率は、前連結会計年度末の45.2%から45.9%となりました。

## 3. 業績予想の利用に関する注記事項

記載した予測数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

## 連結貸借対照表

(百万円未満切捨て)

科 目	平成16年3月期第3四半期 (平成15年12月31日現在)		平成15年3月期 (平成15年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
<b>( 資 産 の 部 )</b>		%		%
<b>流 動 資 産</b>	396,549	43.9	364,936	42.2
現金及び預金	56,823		55,035	
受取手形及び売掛金	202,569		180,384	
有価証券	3,397		687	
たな卸資産	99,756		98,754	
繰延税金資産	10,157		11,405	
その他	24,723		19,409	
貸倒引当金	878		740	
<b>固 定 資 産</b>	507,672	56.1	499,652	57.8
1. 有形固定資産	302,930	33.5	296,579	34.3
建物及び構築物	237,496		229,474	
機械装置及び車両運搬具	405,818		381,562	
その他	45,766		43,134	
減価償却累計額	472,366		449,886	
土地	70,323		69,119	
建設仮勘定	15,891		23,175	
2. 無形固定資産	50,089	5.5	51,892	6.0
連結調整勘定	32,427		35,000	
その他無形固定資産	17,661		16,891	
3. 投資その他の資産	154,652	17.1	151,180	17.5
投資有価証券	119,313		106,508	
長期貸付金	505		242	
繰延税金資産	25,731		34,940	
その他	10,803		11,301	
貸倒引当金	1,701		1,812	
<b>資 産 合 計</b>	<b>904,222</b>	<b>100.0</b>	<b>864,588</b>	<b>100.0</b>

(百万円未満切捨て)

期 別 科 目	平成16年3月期第3四半期 (平成15年12月31日現在)		平成15年3月期 (平成15年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
<b>( 負 債 の 部 )</b>		%		%
<b>流 動 負 債</b>	268,922	29.8	305,737	35.4
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	125,062		116,952	
短 期 借 入 金	44,169		66,118	
コ マ ー シ ャ ル ペ ー パ ー	27,000		11,000	
1 年 以 内 返 済 予 定 長 期 借 入 金	2,012		6,577	
1 年 以 内 償 還 予 定 社 債	-		15,000	
未 払 法 人 税 等	8,876		19,706	
賞 与 引 当 金	2,099		3,313	
そ の 他	59,702		67,068	
<b>固 定 負 債</b>	196,594	21.7	144,577	16.7
社 債	95,000		45,000	
長 期 借 入 金	7,389		7,393	
繰 延 税 金 負 債	3,751		2,724	
退 職 給 付 引 当 金	68,832		68,560	
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	1,488		1,769	
そ の 他	20,131		19,129	
<b>負 債 合 計</b>	<b>465,516</b>	<b>51.5</b>	<b>450,315</b>	<b>52.1</b>
<b>( 少 数 株 主 持 分 )</b>				
少 数 株 主 持 分	23,130	2.6	23,118	2.7
<b>( 資 本 の 部 )</b>				
<b>資 本 金</b>	79,863	8.8	79,863	9.2
<b>資 本 剰 余 金</b>	111,579	12.3	111,579	12.9
<b>利 益 剰 余 金</b>	270,677	29.9	250,973	29.0
<b>そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金</b>	8,014	0.9	1,727	0.2
<b>為 替 換 算 調 整 勘 定</b>	52,735	5.8	51,349	5.9
<b>自 己 株 式</b>	1,824	0.2	1,639	0.2
<b>資 本 合 計</b>	<b>415,575</b>	<b>45.9</b>	<b>391,154</b>	<b>45.2</b>
<b>合 計</b>	<b>904,222</b>	<b>100.0</b>	<b>864,588</b>	<b>100.0</b>

## 連 結 損 益 計 算 書

(百万円未満切捨て)

期 別 科 目	平成16年3月期第3四半期		平成15年3月期	
	自平成15年4月1日 至平成15年12月31日		自平成14年4月1日 至平成15年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比
<b>売上高</b>	795,834	100.0	987,727	100.0
<b>売上原価</b>	568,939	71.5	716,999	72.6
売上総利益	226,894	28.5	270,727	27.4
<b>販売費及び一般管理費</b>	172,757	21.7	216,668	21.9
営業利益	54,136	6.8	54,059	5.5
<b>営業外収益</b>	8,890	1.1	13,010	1.3
受取利息	604		966	
受取配当金	501		954	
持分法による投資利益	4,228		6,549	
その他	3,556		4,539	
<b>営業外費用</b>	6,180	0.8	10,180	1.0
支払利息	2,363		3,377	
その他	3,817		6,803	
経常利益	56,847	7.1	56,888	5.8
<b>特別利益</b>	4,160	0.5	28,611	2.8
固定資産売却益	3,815		2,423	
投資有価証券売却益	46		4,817	
その他	298		21,370	
<b>特別損失</b>	9,109	1.1	20,033	2.0
固定資産除却損	5,465		2,929	
関係会社整理損	643		1,002	
投資有価証券評価損	189		237	
和解金	1,372		6,894	
その他	1,437		8,970	
税金等調整前四半期(当期)純利益	51,898	6.5	65,466	6.6
法人税等	21,822	2.7	-	
法人税、住民税及び事業税	-		33,834	3.4
法人税等調整額	-		4,685	0.5
少数株主損益	2,718	0.3	3,138	0.3
四半期(当期)純利益	27,357	3.4	33,178	3.4

## 事業の種類別セグメント情報

平成16年3月期第3四半期（自平成15年4月1日 至平成15年12月31日）

（百万円未満切捨て）

科目 セグメント	自平成15年4月1日 至平成15年12月31日							
	国内食品	海外食品	アミノ酸	医薬	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	466,894	107,575	113,443	60,417	47,503	795,834	-	795,834
(2)セグメント間の 内部売上高	1,769	8,901	15,465	43	45,126	71,305	(71,305)	-
計	468,663	116,476	128,908	60,461	92,629	867,140	(71,305)	795,834
営業費用	445,959	109,735	110,073	51,249	89,589	806,606	(64,909)	741,697
営業利益	22,704	6,740	18,835	9,212	3,040	60,533	(6,396)	54,136

（注）1．事業区分は、社内カンパニー制における事業運営体制に基づいております。

（注）2．各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
国内食品	「味の素」、「ほんだし」、「 <sup>クック</sup> Cook Do」、スープ、マヨネーズ、「パルスweet」（国内分）、「アミノバイタル」、「味液」、冷凍食品、コーヒー、国内飲料、乳製品、国内食品流通等
海外食品	「味の素」類、核酸類、海外即席麺、海外飲料、海外サービス他
アミノ酸	各種アミノ酸、アスパルテーム、化成品等
医薬	医薬品、医療食品
その他	物流、各種サービス他

前連結会計年度（自平成14年4月1日 至平成15年3月31日）

（百万円未満切捨て）

科目 セグメント	自平成14年4月1日 至平成15年3月31日							
	国内食品	海外食品	アミノ酸	医薬	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	583,243	139,236	135,933	62,693	66,621	987,727	-	987,727
(2)セグメント間の 内部売上高	2,735	12,749	22,267	7	60,336	98,096	(98,096)	-
計	585,979	151,985	158,200	62,700	126,957	1,085,823	(98,096)	987,727
営業費用	559,173	142,735	144,641	53,817	123,108	1,023,476	(89,808)	933,667
営業利益	26,805	9,250	13,558	8,883	3,849	62,346	(8,287)	54,059

（注）事業区分及び各事業区分の主要製品は、平成16年3月期第3四半期と前連結会計年度の間に変更はありません。